

広報 五所川原市

発行 五所川原市

〒037

青森県五所川原市字岩木町12

☎0173-52111代

編集 総務部秘書企画課

印刷 南北斗オフセット

市の人口 総数52,262人 (男25,243・女27,019) 世帯数14,721 (9月30日現在) (毎月2回 1日・15日発行)

飲酒・暴走運転追放市民総決起大会が九月二十日、市役所前お祭り広場に交通安全協会や交通安全母の会などから約五百人参加して開かれました。

同大会では、成田不二雄市収入役がいさつし、地代所定蔵五所川原警察署長が交通事故故現況報告を、また寺田市議長と榎引・成田両県議がそれぞれあいさつを述べました。そして、参加者を代表して交通安全母の会連合会野里支部長の白戸静江さんが大会宣言を読みました。

この後、参加者全員が繁華街をパレードし、道行く人々に飲酒・暴走運転追放を訴えました。また、このパレードに市営毘沙門牧場の二頭の牛も特別参加。「モー交通事故はごめんです」と染め抜いたシートを着て安全運動に一役買っていました。



アフリカに緑を 愛の一球

— 朝野球協会 —

五所川原朝野球協会(中井達郎会長)では、アフリカの難民を救おうと「アフリカに緑を 愛の一球」をキャッチフレーズに、参加五十九チームのナイン一人ひとりが本年四月開幕以来、開会式や役員会、総会などの際に百円を寄付。

九月十九日に五松苑で行われた朝野球大会閉会式で中井会長が東奥日報社の岡部健哉五所川原支局長にこの募金(約十一万円)の目録を手渡し、難民救済を託しました。

中井会長は、「アフリカ難民の救済に少しでもお役に立てれば」と始めた。参加チームの皆さんが積極的に協力してくれ、大変うれしく思っています」と語っていました。



目録を渡される中井会長(右)

増田桓一支部長(主催の時局講演会が九月二十六日、市中央公民館で約四百人が出席して開かれました。

講演会のテーマは、「二つの四十年 国連創設と第二次大戦終結」。坂田氏は、「今年、国連四十周年にもあたり国連を見直す良いチャンスだ。また日本は、米、ソの大国とは違うミドルパワーの国。国連の中では今後、どちらの陣営にも属さず、国際的な問題が生じた際に、その仲介役としての役割を果たしていくべきだ」と語り、出席者は同氏の熱弁にじっと聞き入っていました。



「坂田二郎氏」時局講演会

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限りない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切に、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

昭和60年

No.601

10-15



毎月としこんでください。後できつとお役に立ちます。





表彰式

文化褒賞は、 中村、野呂の各氏

昭和六十年度の市褒賞、文化褒賞の表彰式を十月一日、市働く婦人の家で行い、小野豊四郎さんら七氏に市褒賞を、中村正治さんら二氏に文化褒賞をそれぞれ贈りました。

また受賞者の夫人には、内助功労章を贈りました。表彰式には森田市長、受賞者、来賓など約八十人が出席。君が代斉唱の後、森田市長が受賞者と夫人一人ひとりに表彰状と褒章を贈り、「受賞者のみなさんに

市	褒	賞
 <p>地域医療確立に寄与 福田 幸雄氏（66） 弘前市大字富田一丁目四番地の三十八年の永きにわたり、市立西北中央病院長として地域医療確立に寄与されるとともに、同病院整備事業推進に心血を傾注されその発展に貢献されました。 内助功労章 深雪さん</p>	 <p>郵政事業を通じて地域発展に貢献 太田 義雄氏（68） 飯詰字沢田七三番地四 永年にわたり郵便局長、東北特定郵便局長、会長をつとめ地域発展に尽されるとともに、保護司として社会浄化に貢献されました。 内助功労章 アキエさん</p>	 <p>地方自治振興に貢献 小野 豊四郎氏（77） 沖飯詰字男鹿一六〇番地二 永年にわたり市議会議員として活躍され、この間市議会議長をつとめ地方自治振興と市勢伸展に尽されました。 内助功労章 キクエさん</p>

市	褒	賞	
 <p>日韓親善友好に貢献 大西 世鎬氏（55） 大町三五番地 地域経済振興と社会福祉の向上に尽されるとともに、日韓両国の相互理解と親善友好に貢献されました。 内助功労章 貴子さん</p>	 <p>地域医療確立に貢献 津嶋 廉造氏（59） 大町九番地 はやくから学校医として児童生徒の健康増進に尽されるとともに、青森県歯科医師会北五支部会長として地域医療確立に貢献されました。 内助功労章 伶子さん</p>	 <p>地域医療確立に貢献 中村 登喜雄氏（61） 一ツ谷一六〇番地 永年にわたり医療活動を行うとともに、救急医療確立のため尽されたほか医療奉仕活動を通じて地域医療確立に貢献されました。 内助功労章 恵美子さん</p>	 <p>地域経済の振興発展に貢献 木下 知氏（66） 青森市大字横内字八重第一番地 卓越した五所川原経済人として、経営手腕を発揮され事業の経営にあたり地域経済の振興発展に貢献されました。 内助功労章 ミサオさん</p>

地域発展に貢献 市褒賞 文化褒賞

市褒賞に小野、太田、福田、木下、中村、津嶋、大西の各氏。



市褒賞・文化褒賞表彰式で式辞を述べる森田市長

は今後ともご健康に過ごされ、市勢発展のため一層のお力添えをお願いします」と式辞を述べました。引き続き寺田市議会議長、村上純一市表彰推せん委員会会長が祝辞を、また受賞者を代表して小野豊四郎さんが、「本日の受賞を心の糧として、今後とも市勢発展のために努力したい」とお礼の言葉を述べました。以下、各受賞者を紹介します。

感謝状を贈呈

多額寄付者など

市では、近年市教育振興会や市体育協会、市立図書館などに多額の寄付などを

された個人、団体に感謝状を贈りました。

十月一日に市保健センタ

で行った贈呈式には、森田市長と受影者など約四十人が出席。森田市長が受影者一人ひとりに感謝状を贈りました。受影者は、次のとおりです。

（敬称略）

感謝状の受影者（個人・団体）

◇市教育振興会に寄付

飯塚俊雄（飯詰）、菊地キヨ（中平井町）、川村恒儀（末広町）、中村伸太郎（川端町）、平山栄一（旭町）、成田弘三（元町）、佐々木勝造（柏原町）、近藤徹（難田）、秋田徳（敷島町）、増田恒一（新町）、五所川原ライオンズクラブ、原芳江（松島町）、佐々木啓二（松島町）、高橋良治（みどり町）、青森ファッション（川山）、吉岡キヌ（難田）

◇市体育協会に寄付

五所川原柔道会、成田弘三（元町）、増田恒一（新町）、佐々木啓二（松島町）

◇図書館へ図書寄贈

飛島のぶ（前田野目）、五所川原ライオンズクラブ、原芳江（松島町）、辻馨（本町）

◇交通遺児育英資金として寄付

五所川原青年会議所

◇トド松一千本寄贈

（株）美秀園（広田）

◇防犯灯十基と電磁調理器寄贈

東北電力株五所川原営業所

◇五所川原第四中学校屋内相撲場寄贈

江良力（毘沙門）

文化褒賞



青少年の健全育成に貢献

野呂甚助氏（78）

蓮沼一四番地

全国子ども会連合会副会長として子ども会の指導育成に精励され、青少年の健全育成と社会教育の振興発展に貢献されました。

内助功労章 チ マさん



工芸技術の伝承に貢献

中村正治氏（80）

敷島町五一番地

はやくから名工の誉高く、卓越した技術によって数多くの作品を世に残されるときも、後進の指導に精励して日本古来の工芸技術の伝承に貢献されました。

「市民憩いの森」づくりリスタート

飯詰山国有林野を活用

市では国有林野を活用した「市民憩いの森」の整備を計画し、その作業を進めてきました。九月二十八日、金木営林署、農業青年会議、

部分林組合などの協力を得て記念植樹を行い、そのスタートを切りました。

この計画は、今年を初年度に六十九年度までの十

年で、四十鈴を森林レクリエーションの場として整備しようというもの。

今年から六十九年までは植栽、保育管理、また計画を前・後期に分け、前期は六十二年から二年間、遊歩道、休屋、水飲場、トイレ

などの施設整備。後期の六十八年からは憩いの場の全体的な整備を行う予定。最終的には杉の苗を十二万本植栽する計画ですが、全体の事業費は約五千万円を見込んでいます。

この「市民憩いの森」は、飯詰山国有林地内で市の中心部から北東へ約十五キロ。付近には「味噌ヶ沢野鳥の村」などがあり、森林レクリエーションの場としては絶好の場所といえます。

記念植樹をしたこの日は、吉岡市助役をはじめ約六十人が参加。吉岡助役と武田一男金木営林署次長があいさつを述べた後、早速植栽に入りました。杉の苗は、三年もので高さが約四十センチ。



「市民憩いの森」に記念植樹をする参加者達

参加者達は、三人一組で、「市民憩いの森」の十年後の完成を目ざして、一鈴に約三千本の杉を植樹。今年の植栽計画は二・五鈴で、残りの一・五鈴は、今年中に部分林組合の人達が約四千本植樹される予定です。

今年には国際森林年にあたることから、市では、この機会に多くの市民の参加を期待しています。



「市民憩いの森」の案内図

緑に力を
未来に夢を



85国際森林年

教育振興会に

20万円寄付

津軽鉄道㈱代表取締役会長 佐々木啓二氏は九月二十八日、市役所を訪れ、(財)五所川原市教育振興会に二十万円を寄付、森田市長にその目録を手渡されました。佐々木氏からの寄付は、今回で連続八回目となり、関係者から非常に感謝されています。



目録を渡される佐々木さん(左)

めでたく結婚50年

合同金婚式

めでたく結婚五十年を迎えられた長寿ご夫婦を心からお祝いするため十月四日、市中央公民館で合同金婚式を行いました。

式には、森田市長と市内の六十五組のご夫婦、来賓など合わせて約百五十人が出席。森田市長が「みなさんのこれまでのご苦労をねぎらうとともに、金婚式を迎えられ新たな夫婦愛を育まれておられる皆様方を夫婦の鑑、市民の模範として

まいりたい」と式辞を述べ、それぞれの席を回って顕彰状と記念品を贈りました。

引き続き平山誠敏市社会福祉協議会長、葛西専造市老人クラブ連合会長が、それぞれ祝辞を述べました。

その後、金山の岩崎富雄さん74が「これからも夫婦仲良く、楽しい人生を送りたい」とお礼のことばを述べました。

また、東町の川口亀十郎さん72が「結婚五十年のあ

ゆみ」と題して、これまでの結婚生活に対する感想を述べ感謝を与えました。

このあと出席者達は、昼食をとりながらアトラクションを楽しみ、憩いのひとときを過ごされました。

顕彰されたご夫婦

川口亀十郎・カヨ 東町
木村友一・とよ 東町
小田桐惣次郎・ツセ 田町
増田又太郎・チャ 田町
黒瀧武一・ちよ 本町



森田市長から顕彰されるご夫婦達



目録を渡される小田川さん(左から2人目)

老人福祉に役立てて 20万円寄付

柏村大字鷺坂の小田川一氏が九月二十七日、市役所を訪れ、老人福祉に役立ててくださると二十万円を寄付、森田市長にその目録を手渡されました。

小田川さんは、市老人クラブ連合会の「基礎確立基金づくり」に賛同、寄付を思い立ったもの。

市では、小田川氏のご意志にそって市社会福祉協議会の善意銀行に預託、それから市老人クラブ連合会に払い出すことにしています。



目録を渡される長沢副会長(左)

環境美化に ゴミ入れら台寄付

五所川原中央ロータリークラブ(中井達郎会長)では九月二十六日、市役所を訪れ、菊ヶ丘運動公園の環境美化に役立ててくださるとセンターバック(ゴミ入れ)五台を寄贈、長沢四郎副会長が森田市長にその目録を手渡されました。

同クラブは、五年前に創立以来、環境美化運動を重点的に取り上げ、これまで河川に清掃を呼びかける立て看板を設置するなど、毎年活発な活動を続けてきています。

- 長尾竹太郎・あい 幾島町
- 菊地長次郎・よ系 敷島町
- 佐々木武雄・キヌ 岩木町
- 白戸又五郎・あね 錦町
- 小田桐喜代太郎・シサ 元町
- 佐藤喜丈・ヒサ 元町
- 境健三郎・ミサ 柏原町
- 三上儀見・キヌ 難田
- 三浦義雄・り系 鎌谷町
- 白戸英蔵・すめ 一ツ谷
- 新岡正雄・ち系 上平井町
- 福岡壽一・きさ 中平井町
- 笹森善太郎・キクエ 鎌橋元
- 佐々木金治郎・あき 長橋橋元
- 川浪一雄・きよ 松島町
- 原清司・のよ 新宮岡田
- 長沢正太郎・リツ 小曲
- 岩崎富雄・みつ系 金山
- 高橋竹一・よしみ 金山
- 和田夏男・ふよ 吹畑
- 小野専太郎・節子 一野坪
- 小田桐源太郎・フヨ 漆川
- 太田春吉・タケ 水野尾
- 成田勇助・とき 唐笠柳
- 山田實・よつ 稲実
- 一戸柁次郎・さだ 稲実
- 毛内認次郎・きく 広田
- 佐々木正直・千代 七ツ館
- 天内秀正・房江 湊
- 山口和次郎・イマ 湊
- 川口金四郎・アグリ 梅田
- 浅利正三・ハル 梅田
- 松山喜代太郎・きよ 中泉
- 神政男・ミセ 中泉
- 長尾賢吉・ツヤ 野里
- 石岡治三郎・つる 神山
- 川浪勇一・キミエ 藻川
- 高橋周造・や系 藻川
- 木村松太郎・ちよ 高瀬
- 澤田弥一・クリ 鶴ヶ岡
- 小田桐智良・ちよ 高野
- 新谷志郎・タケ 前田野目
- 新谷勝三郎・キサ 前田野目
- 斎藤政五郎・タキ 前田野目
- 新谷多八郎・ミエ 前田野目
- 小笠原武一・み系 持子沢
- 斎藤喜三郎・キエ 持子沢
- 三上正太郎・シデ 原野
- 伊藤健四郎・まる 原野
- 奥野萬十郎・みつえ 飯詰
- 其田一郎・タキ 下岩崎
- 其田徳之進・タキ 下岩崎
- 山口繁雄・つや 毘沙門
- 佐藤藤次郎・イヨ 毘沙門
- 上見善作・かよ 毘沙門
- 太田元四郎・スミ 毘沙門
- 澤田勝頼・せつ 毘沙門
- 北川成四郎・キエ 毘沙門
- 増田顕・かよ 長富
- 原田敬作・ミキ 長富

出稼ぎ者とその留守家族激励会

これから出稼ぎされる方、その留守家族の激励会を開きます。一般の方も多数おいでください。

- ▷日時 10月25日（金） 午後1時
- ▷場所 市民文化会館
- ▷催し物 カラオケ大会
 ※カラオケ大会には、出稼協会会員、市内農協組合員が参加できます（各自テープを持参）。参加申し込み（先着30人で締切）は10月20日までに市役所市民相談室（☎352111番 内線 281番）へどうぞ。
- ▷主催 市内農協懇談会
市出稼協会

歴史研修会のご案内

津輕考古学会

- ▷日時 10月20日（日）午前8時（市役所前出発時間厳守）
 - ▷参加資格 会員ほか一般市民（性別等不問。中・高校生も歓迎）。（先着50人で締切）
 - ▷参加料 バス代として 大人 2,000円、中・高校生 1,000円（当日持参可）
 - ▷研修コース 市役所一太石神社一白八幡宮一種里城址一関の板碑群一深浦資料館一弁天崎（昼食）一円覚寺一見入山観音（追入瀬）一森田民俗資料館一市役所前（午後6時予定）
 - ▷申し込み方法 10月18日までに市中央公民館内の事務局（☎356056番 原）へお申し込みください。
- 後援 市教育委員会

文化講演会

- ▷日時 10月21日（月）
午後6時30分
- ▷場所 市民文化会館
- ▷演題 「まんがと人生」
- ▷講師 富永一朗氏（漫画家）
「チンコロ姐ちゃん」や「ボンコツおやじ」でおなじみ。
- ▷入場料 無料
- 主催 市教委、市連合PTA



「愛の献血」をお願いします

月	日	午 前	午 後
10	22 (火)	午前10時から12時まで 国鉄五所川原駅前	午後1時30分から4時まで 栄町 県合同庁舎前



健康 コーナー

小児看護教室へどうぞ

- 小児の救急看護について、実技をまじえて講演いたします。
- ▷テーマ 子供の救急看護
 - ▷日 時 10月23日（水） 午前10時30分～12時
 - ▷場 所 市保健センター
 - 主 催 日本看護協会北五地区支部

乳幼児の健康診査

- ▷場 所 市保健センター
- ▷受付時間 午後1時～1時30分まで。
- ▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。3歳児は尿検査も行いますので、当日きれいに洗った小ビンに、尿を入れてお待ちになってください。
- ▷注意 6カ月児の健康相談の際に、神経芽細胞腫（小児がん）の検査セットを配布します。
- ▷お願い 病气療養中（特に伝染性の病气）のお子さんはご遠慮ください。

月	齢	対 象 児	期 日	内 容
3	カ	月 児	S60年7月生れ	11月12日(火) 健康診査
6	カ	月 児	S60年4月生れ	11月19日(火) 健康相談
1	歳	児	S59年10月生れ	11月25日(日) 健康相談
1	歳6	カ月児	S59年5月生れ	11月26日(火) 健康診査
3	歳	児	S57年7月生れ	11月18日(日) 健康診査

「**国有地を売ります**」
（一般競争入札）
下平井町地内

- ▽売払物件
下平井町七二番二
土地 二〇五・六七㎡
- ▽入札日時・場所
十一月一日（金） 午前十時
産経会館五階会議室
- ▽入札保証金 入札金額の百分の五以上
- ▽現場説明の日時・場所
十月二十五日（金） 午前
十時 産経会館五階議
室

詳しくは、東北財務局青森財務事務所管財第二課（☎〇一七七・〇一四六一番）へどうぞ。

第35回東北電力

文化講演会

- ▷日時 10月31日（木）午後6時
- ▷講師 木元教子（放送キャスター）
- ▷演題 「今、夫婦に何が問われているか」
- ▷場 所 市民文化会館
- ▷講 師 ドナルド・キーン（コロンビア大学教授）
- ▷演 題 「世界の中の日本文化」

ご多忙中のところ誠に恐縮でございますが近隣、友・知人お誘い合せの上ご出席下さいますようお願いいたします。

届出る 国籍取得

昭和60年1月1日から国籍法が改正され一定の条件を備えている外国人は、法務大臣へ届け出ることによって日本の国籍を取得することができるようになりました。

日本の国籍を取得できる場合はいくつかありますが、改正国籍法施行前に日本人母から生まれた子の国籍取得の届出は、特に改正国籍法の施行日から3年以内(昭和62年末まで)に限ってすることができますので、この届出をしようとする人は、早目に最寄りの法務局に相談してください。

その他詳しいことは、法務局五所川原支局、または市役所市民課へお問い合わせください。

条 件	添 付 書 類
1. 昭和40年1月1日から昭和59年12月31日までに生まれたこと	(1) 出生届の記載事項証明書、出生証明書、分娩の事実を記載した母子健康手帳など。
2. 日本国民であったことがないこと	(2) 日本の国籍を取得しようとする人の出生時から現在までの母の戸(除)籍謄本(母が死亡しているときは、その死亡時までのもの)。
3. 出生の時に母が日本国民であったこと	(3) 外国の方式により父母が婚姻し、その婚姻が母の戸籍に記載されていない場合は、婚姻を証明する書面

休日・夜間の急病は!
 在宅医師の紹介は消防署(☎35
 2019番)へ (救急医療部会)

展示発表会 みんなの教室

市中央公民館では「みんなの教室」を開催していますが、その学習の成果を発表するため「展示発表会」を開催します。

隣り近所おさそい合わせのうえ、多数おいでください。

▷期日 10月22日～23日

▷種目 洋裁、ちぎり絵、書道、生花、茶道、着付、料理、コーヒー、日本舞踊、スポーツ

第5回 少年の主張発表大会 市民多数のおいでを!

市内の小・中学校の生徒が日頃考えていることを発表し、親と子がお互いに理解を深めようとするものです。

▷日時 10月29日(火) 午後1時

▷場所 市働く婦人の家 3階ホール

主催 市教育委員会

61年版県民手帳

デザイン一新、便利で使いやすくなりました。

▷発行時期 10月下旬(予定)

▷頒布価格 1部 330円

60年版県勢グラフ

小・中・高校生の学習の一助にご利用ください。

▷発行時期 発売中 ▽頒布価格 1部 350円

お申し込みは、市秘書企画課統計調査係(☎35
 2111番 内線 318・319番)へどうぞ。

昭和61年度学生募集 県営農大 農学系

- ▷修業年限 畑作園芸、果樹、畜産の各課程共2年
 - ▷募集人員 畑作園芸 25人、果樹 25人、畜産 20人
 - ▷受験資格 高等学校を卒業した人、又は61年3月卒業見込みの人、また前項と同等の知識及び能力を有すると知事が認めた人
 - ▷受付期間 昭和61年1月20日～2月5日(郵送の場合は、昭和60年2月5日までの消印のあるものは有効)
- その他詳しいことは、県営農大(☎0176-62-3111) 〒039-25 上北郡七戸町字大沢48-8へお問い合わせください

昭和61年度学生募集 県農業大 農学系

- ▷修業年限 普通科、専攻科共各2年
 - ▷募集人員 普通科 35人 専攻科 若干名
 - ▷受験資格
 普通科 (1)高等学校を卒業した人又は61年3月31日までに卒業する見込みの人 (2)高等学校を卒業した人と同等以上の学力を有すると知事が認めた人
 専攻科 (1)県農業大(普通科及び農業短期大学を卒業した人又は61年3月31日までに卒業する見込みの人 (2)上記と同等以上の学力を有すると知事が認めた人
- その他詳しいことは、県農業大(☎0172524315番 黒石市境松1丁目1番地)へお問い合わせください。

市民総合文化祭

いよいよ文化祭の季節となりました。市の文化団体による総合発表会がありますので、ご家族おそろいでおいで下さい。

市文化振興会議

月日	時間	会場	行事	団体名
10月27日	10:00~	中央公民館	第22回県下川柳大会	川柳岩木吟社
10月29日	18:30~21:00	中央公民館	謡曲大会	五所川原宝生会
10月30日~11月3日	9:00~16:00	中央公民館	菊花展示会	五所川原晚香会
11月2日~11月3日	9:00~16:00	中央公民館	書道展示会	五所川原書道会
			盆栽展示会	五所川原盆栽会
			盆景展示会	五所川原紫操会
			絵画展示会	五所川原
				チャーチル会
			光彩会	
			紙細工作品展示会	紙細工研究会
老人クラブ	市老人クラブ連合会			
趣味作品展示会				
11月3日	9:00~16:00	中央公民館	市民茶会	華道池の坊
				華道遠州流
				華道小原流
				茶道裏千家
				茶道遠州流
				茶道江戸千家
11月3日	9:40~10:20	中央公民館	箏曲(琴)発表会	木の実会
	10:25~11:25		民謡手踊発表会	津軽三味線滝会
	11:30~12:30		箏曲(琴)発表会	松葉
	12:35~13:35		津軽三味線発表会	五所川原民謡協会
	13:40~14:40		詩吟発表会	五所川原吟詠会
14:45~16:05	日本舞踊発表会	綾扇		
11月4日	10:00~	市民文化会館	第25回県下俳句大会	五所川原俳句会
11月4日	13:00~16:00	中央公民館	市内文化碑めぐり	若山牧水歌碑他
11月10日	10:00~	中央公民館	植物研究発表会	津軽植物の会
11月17日	9:00~17:00	中央公民館	第25回県下短歌大会	五所川原短歌会
12月7日	18:30~	市民文化会館	合唱団発表会	五所川原合唱団

国民参政95年
普選60周年
婦人参政40周年

記念作文募集

意義

○初めて選挙権を行使した感想
○明るい選挙を実現するために

本年は、明治二十三年七月に第一回衆議院議員総選挙が実施され、国民が初めて国政に参加するようになってから95周年、大正十四年五月にいわゆる普通選挙法が公布され、二十五才以上の男子による普通選挙制度が確立されてから60周年、昭和二十年十二月に衆議院議員選挙法が改正され、婦

人に参政権が賦与されてから40周年に当たるとして、意義深い年です。国民参政95周年・普選60周年・婦人参政40周年記念会ではそれを記念し、記念作文を募集しています。
▽テーマ
○参政権の拡張の歩みについて
○政治参加としての選挙の

○投票率の低下の解決策
▽応募枚数 四〇〇字詰原稿用紙六枚以上十枚以内。
▽締切期日 十一月三十日(当日消印有効)
▽送り先 県選挙管理委員会
○その他不明の点がありましたら県選挙管理委員会にお問い合わせ下さい。

▽募集人員 機械システム40人、電子20人、建築設備20人、修業年限二年で男女を問わない。
▽応募資格 学校教育法による高等学校を卒業をした人(昭和六十一年三月卒業見込の者を含む)または、これと同等以上の学力を有すると認められる人。

昭和61年度青森職業訓練短期大学生募集



文化碑めぐり

「ご参加ください」

▽受付期間 昭和六十一年二月一日(水)~二月二十日(木)
受付時間は、日曜、祝日を除く午前九時から午後四時まで。ただし、土曜日は正午まで。郵送による場合は昭和六十一年二月二十日必着のこと。
その他詳しいことは、青森職業訓練短期大学校、学生課(☎〇一七三三三三三)に問い合わせください。
▽見学コース ①加藤東籬歌碑 ②和田山蘭歌碑 ③上原げんと音楽碑 ④内海草披句碑 ⑤八木隆一郎歌碑 ⑥若山牧水歌碑

短歌

津軽アスナロ五所川原支部
筋が短絡誇張の個所など更に築し初秋の幾夜読む
三国志 大沢 寿夫
廢村の古家の軒に雨宿る燕の巢藁垂れて揺れおり
村田 きえ
白壁に障子戸めぐらす暖奉行の平山邸に秋日ゆた
けし 大沢 頼枝
極楽と言わん声かも夕暮の湯ふわにひたり歌う七
絶 崎野 清藏
群れなして岩木川原を飛ぶトンボあといくばくの
秋染しめよ 大沢 良信